

品番 NNN(H)62010K

・器具の取り付けには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

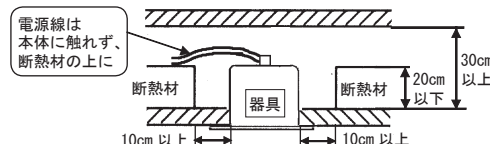
⚠ 危険

- 断熱材、防音材をかぶせた状態で使用しない。火災の原因となります。

- ・住宅の断熱施工天井には、使用できません。

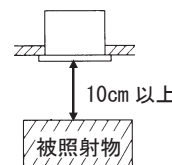
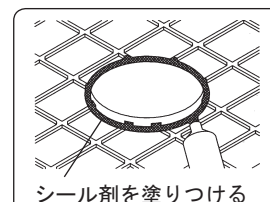
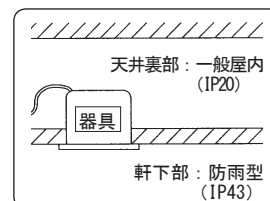


器具は断熱材・防音材・造営材等と下記のような空間を設けて施工してください。



⚠ 警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に施工を行う。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
- 器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換はしない。火災・感電・落下の原因となります。
- 器具の取り付け部以外の本体外郭が、天井内の造営物やダクト、電気配線等の設備に触れないように施工する。火災の原因となります。
- この器具は軒下用です。雨のかからない屋根部分の軒下で使用する。また、浴室などの湿気の多い場所で使用しない。火災・感電の原因となります。
- 器具の部位により防水性能が異なります。天井裏部は防水性能がありません（一般屋内）ので、天井裏部に水のかかる場所へは設置しない。火災・感電の原因となります。
- 取付面に凹凸がある場合、パッキンとのスキマを防水シール剤で埋める。防水が不完全な場合、火災・感電の原因となります。
- 水平天井埋込専用です。壁取り付けや天井直づけ及び傾斜天井へは取り付けない。火災・落下の原因となります。
- 必ず表示された定格電圧 $\pm 6\%$ の電源電圧で使用する。指定外の電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。
- 接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって確実に施工を行う。接地が不完全な場合、感電の原因となります。
- 器具と被照射面は10cm以上離す。火災・変色の原因となります。
- 本体表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用する。指定以外のランプを使用すると、火災の原因となります。



⚠ 注意

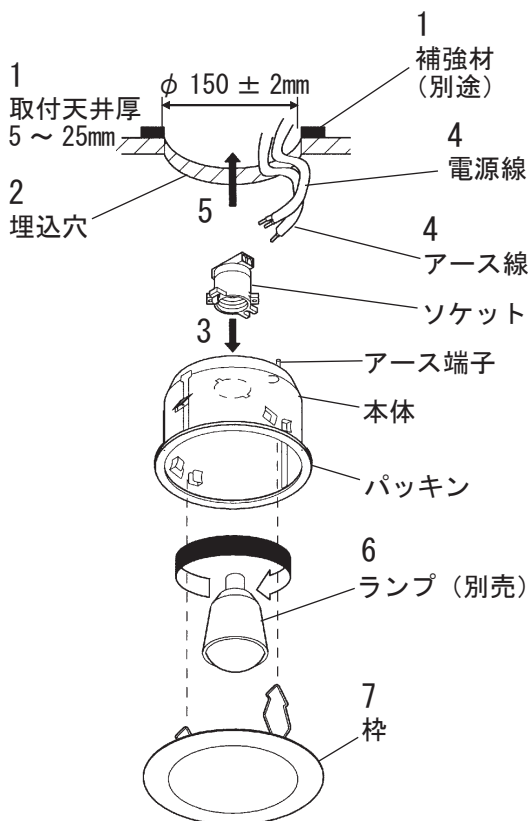
- 軒下用LED専用器具です。直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、腐食性のガスの発生する場所では使用しない。火災・感電・落下・サビの原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃で使用する。指定外の周囲温度で使用すると、火災またはランプ短寿命の原因となります。
- ライトコントロールなどの調光器やあかりモコンアダプタと併用して使用しない。火災の原因となります。
- LEDを直視しない。目の痛みの原因となることがあります。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。

施工上のご注意

- 防雨性確保のため、天井面と枠の間に隙間が1～2mmあきますのでご了承ください。
- LEDには光のバラツキがある為、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 取り付け面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取りつける。サビや変色の原因となります。
- 突入電流が大きくなります。壁スイッチに接続される場合は、一回路当たり6台以下を目安に配線してください。スイッチの故障の原因となります。

各部のなまえと取り付けかた

- ・ロックウール等の柔らかい天井及び珪酸カルシウム板の天井に取りつける場合は、必ず取付金具と天井の間に補強材（鉄板・木片等）を入れてください。補強材のない場合、器具落下・光モレの原因となります。
- ・器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。



これは一部簡略化した図です。

1. 取り付け前の確認をする

- ・器具質量（約 0.7kg）に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
不備がありますと器具落下の原因となります。

2. 天井に $\phi 150 \pm 2\text{mm}$ の埋込穴をあける

※精度良く埋込穴をあけるのにダウンライトカッターをおすすめします。

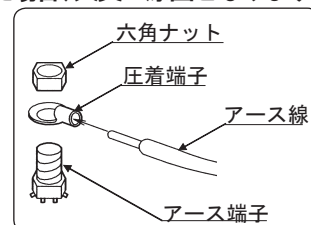
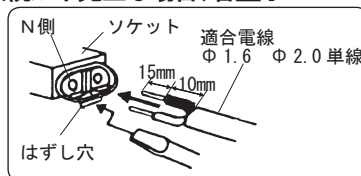
3. ソケットを取りつける

- ①ソケット（バネ反対側）を本体天穴にスライド挿入する。
- ②バネ部をカチッと音がするまで本体に押し込む。
不備がありますと、火災・感電の原因となります。



4. 電源線をソケットに接続する

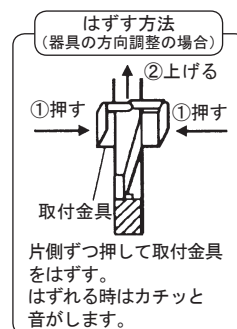
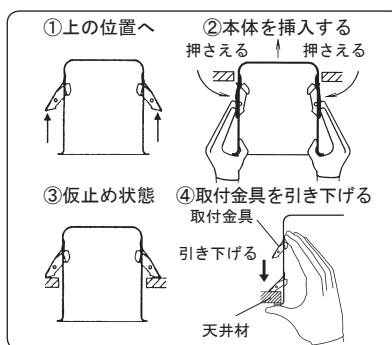
- ・アース端子を用いてD種（第3種）接地工事を行う。
- ・電源線を差し込み穴の奥まで確実に差し込む。
- ・送り容量は10A以下です。
- ・壁スイッチ1個当たり6台まででご利用ください。
接続が不完全な場合、容量オーバーした場合、火災の原因となります。



5. 本体を取りつける

- ・パッキンが確実に取りついていることを確認する。

 - ①取付金具を本体上部へとどめておく。
 - ②取付金具を内側へ押さえながら、天井に挿入する。
 - ③仮止め状態とする。
 - ④取付金具を引き下げて、本体を確実に固定する。
不備がありますと落下の原因となります。

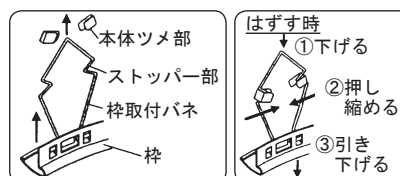


6. ランプ（別売）を確実に取りつける

不備がありますと火災・落下の原因となります。

7. 枠を取りつける

- ・本体ツメ部に枠取付バネを合わせ、枠をまっすぐ静かに最後まで押し上げる。
- ・枠をはずす場合は、
 - ①枠をストッパー部まで静かに引き下げる。
 - ②指先で枠取付バネを押し縮める。
 - ③静かに引き下げる。

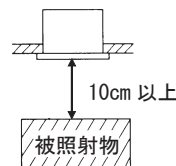


ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換はしない。火災・感電・落下の原因となります。
- 異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・工事店に相談する。火災・感電の原因となります。
- 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。火災の原因となります。
- 器具と被照射物の距離は、10cm以上離す。被照射物の火災・変色の原因となります。



⚠ 注意

- 使用するランプの注意事項を必ず守る。
 - LEDを直視しない。目の痛みの原因となることがあります。
 - 器具の下に温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）や湿気を発生させる物を置かない。火災の原因となります。
 - お手入れの際は必ず電源を切て行う。感電・やけどの原因となります。
 - 照明器具には寿命があります。設置して10年（※1）経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。 ※1：使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
 - ・LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。
 - ・点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
 - ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
 - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
 - ・3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

使用上のご注意

- 器具の近くでは、赤外線リモコンが動作しないことがごくまれにあります。
- 電波の弱い場所（山間部、鉄筋建物など）では、ラジオや室内アンテナ使用のテレビに影響することがあります。
- LED電球は、点灯中に直射日光などにより周囲温度が異常上昇すると、ランプの保護回路が働き、明るさが低下したり不点灯になります。温度が通常状態に戻れば復帰します。
- LEDには光のバラツキがある為、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 防雨性確保のため、天井面と枠の間に隙間が1～2mmあきますのでご了承ください。

保証について

- 保証について
この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間
弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換



注意

必ず電源を切って行ってください。
感電・やけどの原因となります。



＜器具の清掃について＞ ・ 水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質・強度低下による破損の原因となります。

＜ランプ交換について＞ ・ ランプの明るさが低下したり、消灯や点滅を繰り返すとランプの寿命です。
・ 器具表示にしたがって、下記の指定されたパナソニック製ランプを使用してください。



警告

指定以外のランプを使用しますと火災の原因となります。

適合ランプ

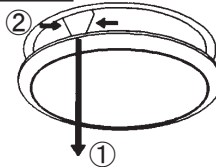
LED電球一般電球タイプ
下方向タイプ
防湿・防雨型器具対応（E26）

LDA8L-H/E/W

1. 枠をはずす

- ① 枠を静かに引き下げる。
- ② 枠取付パネを押し縮め、さらに引き下げる。

取りはずし



2. ランプを交換する

ランプはソケットに確実にねじ込む。
ランプの落下・不点の原因となります。

3. 枠を取りつける

- ・ 取付ばねを本体ツメ部に合わせ、
枠をまっすぐ静かに最後まで押上げる。
不備がありますと落下・防水性低下の原因となります。

取り付け

